

TOKYO

PERFORMING

ARTS

FESTIVAL

東京の舞台芸術
観に行こう、



2018

都民

芸術

フェスティバル

Orchestra/Chamber music/Opera

Contemporary theater/Ballet

Contemporary dance/Japanese traditional music

Japanese traditional dance/Nohgaku

Folkloric performing arts/Variety hall entertainment

2018年1月11日-3月22日

<https://tomin-fes.com/>

10th
Anniversary
2018

都民芸術

フェスティバル

TOKYO PERFORMING ARTS FESTIVAL 2018年1月11日-3月22日

観
に
行
く
舞
台
芸
術

都民芸術フェスティバルは、さまざまな舞台芸術や伝統芸能を、都民をはじめ多くの方に身近に感じていただき、観客層の裾野の拡大を図っていくため、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が共同で実施している事業です。昭和43年度に始まり、毎年1月から3月にかけて開催され、今回で50回目を迎えます。本フェスティバルならではの豪華なラインナップを特徴とし、お求めやすい料金設定や公演をより楽しんでいただくための関連企画を設けるなど、日ごろ生の舞台芸術に馴染みのない方にも親しんでいただける内容となっています。このフェスティバルの機会を利用して、東京の芸術文化の豊かさを体験してみませんか。

CONTENTS

頁

オーケストラ ORCHESTRA オーケストラ・シリーズ No.49

●東京フィルハーモニー交響楽団	1月19日(金)	4
●NHK交響楽団	1月31日(水)	
●東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団	2月8日(木)	
●東京交響楽団	2月20日(火)	
●新日本フィルハーモニー交響楽団	2月28日(水)	
●読売日本交響楽団	3月5日(月)	5
●日本フィルハーモニー交響楽団	3月13日(火)	
●東京都交響楽団	3月15日(木)	

室内楽 CHAMBER MUSIC

●日本人の愛のかたち Vol.2<うた~歌~唄~詩>	日本の歌・シリーズ No.3	1月24日(水)	6
●「カルテットが紡ぐ極上の響き」	室内楽・シリーズ No.17	2月21日(水)	
●「変奏曲とソナタへの誘い」		3月1日(木)	

〈関連事業〉子供向け舞台芸術参加・体験プログラム

●こども芸能体験ひろば in 三鷹	●参加・体験・感動!ふれあいこどもまつり	7
●第14回 子どもたちと芸術家の出あう街		

オペラ OPERA

●藤原歌劇団公演 オペラ『ナヴァラの娘』『道化師』	1月27日(土)~28日(日)	8
●日本オペラ協会公演 オペラ『夕鶴』	2月17日(土)~18日(日)	9
●東京二期会オペラ劇場『ローエングリン』	2月21日(水)~25日(日)	10

現代演劇 CONTEMPORARY THEATER

●劇団俳優座公演『いつもいつも君を憶ふ』	1月11日(木)~21日(日)	11
●虚構の劇団 第13回公演	1月19日(金)~28日(日)/	12
『もうひとつの地球の歩き方 ~How to walk on another Earth.~』	2月15日(木)~18日(日)	
●ミュージカル『HEADS UP!』	3月2日(金)~12日(月)	13
●名取事務所公演『渴愛』	3月9日(金)~18日(日)	14
●青年劇場 第118回公演『きみはいくさに征ったけれど』	3月13日(火)~18日(日)	15

CONTENTS

頁

バレエ BALLET

●牧阿佐美バレエ団公演『ドン・キホーテ』全幕	3月3日(土)~4日(日)	16
●東京シティ・バレエ団創立50周年記念公演『白鳥の湖』	3月3日(土)~6日(火)	17
●日本バレエ協会公演『ライモンダ』全幕	3月10日(土)~11日(日)	18

現代舞踊 CONTEMPORARY DANCE

●現代舞踊公演 魂のDance in Tokyo	3月15日(木)~16日(金)	19
●菊地尚子『シンフォトロンカ・フィジクロニクル』		
●石井智子『グラナダーロールカー』		
●野坂公夫・坂本信子『時の器』		

邦楽 JAPANESE TRADITIONAL MUSIC

●第48回 邦楽演奏会	3月4日(日)	20
-------------	---------	----

日本舞踊 JAPANESE TRADITIONAL DANCE

●第61回 日本舞踊協会公演	2月17日(土)~18日(日)	21
----------------	-----------------	----

能楽 NOHGAKU

●第58回 式能	2月18日(日)	22
----------	----------	----

民俗芸能 FOLKLORIC PERFORMING ARTS

●第49回 東京都民俗芸能大会 花風流~うたとおどりの競い~	3月17日(土)~18日(日)	23
--------------------------------	-----------------	----

寄席芸能 VARIETY HALL ENTERTAINMENT

●第48回 都民寄席	〈国立公演〉2月4日(日)/〈浪曲の会〉2月12日(月・祝)/〈羽村公演〉2月16日(金)	24
	〈狛江公演〉2月17日(土)/〈町田公演〉3月6日(火)/〈日野公演〉3月16日(金)/〈多摩公演〉3月22日(木)	

カレンダー & 料金・各種サービス等一覧 CALENDER & INFORMATION

26

在京8楽団と旬を彩る指揮者やソリストによる名曲プログラム

49回目の開催を迎える「オーケストラ・シリーズ」は、東京に活動拠点を置く8楽団の演奏を親しみやすい名曲を中心としたプログラムで楽しんでいただける人気シリーズです。今回もチャイコフスキー国際コンクールで第3位に入賞したパーヴェル・ミリューコフをはじめ、ヴァイオリニストの辻彩奈、ピアニストの桐榮哲也ら期待を集める新鋭や、日本を代表する演奏家が各公演にソリストとして出演。指揮者も若手からベテランまで魅力的な顔ぶれが揃い、幅広い年代のお客様にクラシック音楽シーンの旬を感じていただける8公演をお届けします。

オーケストラ・シリーズNo.49

東京フィルハーモニー交響楽団 ～春を呼んで～

【開催日】1月19日(金) 19:00開演(18:00開場)

【出演】指揮/太田 弦 ヴァイオリン/前橋汀子
【曲目】グリンカ/歌劇「ルスランとリュドミラ」(序曲)
ブルッフ/ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 作品26
ビゼー/「アルルの女」組曲第2番
ラヴェル/ボレロ



太田 弦 ©Yoshinori Kurosawa 前橋汀子 ©篠山紀信

NHK交響楽団 ～アメリカの夜～

【開催日】1月31日(水) 19:00開演(18:00開場)

【出演】指揮/川瀬賢太郎 ピアノ/小川典子
【曲目】バーンスタイン/カンティード(序曲)
ガーシュウィン/ラプソディー・イン・ブルー
ドヴォルザーク/交響曲第9番 ホ短調 作品95「新世界より」



川瀬賢太郎 ©Yoshinori Kurosawa 小川典子 ©Akira Muto

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 ～欧州の旅～

【開催日】2月8日(木) 19:00開演(18:00開場)

【出演】指揮/高関 健 ピアノ/桐榮哲也
【曲目】ドヴォルザーク/交響詩「真昼の魔女」作品108
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番 八短調 作品18
ブラームス/交響曲第1番 八短調 作品68



高関 健 ©Masahide Sato 桐榮哲也 ©Yoshinobu Fukaya / aura Y2

東京交響楽団 ～モーツァルト・マチネ～

【開催日】2月20日(火) 14:00開演(13:00開場)

【出演】指揮/ロッセン・ゲルゴフ フルート/高木綾子
ハーブ/吉野直子
【曲目】モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」K.492(序曲)
モーツァルト/フルート、ハーブと管弦楽のための協奏曲 八長調 K.299
モーツァルト/交響曲第41番 八長調 K.551「ジュピター」



ロッセン・ゲルゴフ ©Armin Bardel 高木綾子 ©FUMI 吉野直子 ©Akira Muto

新日本フィルハーモニー交響楽団 ～シベリウス・アーベント～

【開催日】2月28日(水) 19:00開演(18:00開場)

【出演】指揮/井上道義 ヴァイオリン/辻 彩奈
【曲目】シベリウス/交響詩「フィンランディア」作品26
シベリウス/ヴァイオリン協奏曲 二短調 作品47
シベリウス/組曲「レンミンカイネン」〜トゥオネラの白鳥〜作品22-2
シベリウス/交響曲第7番 八長調 作品105



井上道義 ©Mieko Urisaka 辻 彩奈 ©Shunpei Ohsugi

読売日本交響楽団 ～北の調べ～

【開催日】3月5日(月) 19:00開演(18:00開場)

【出演】指揮/小林研一郎 ピアノ/仲道郁代
【曲目】チャイコフスキー/歌劇「エフゲニー・オネーギン」作品24〜「ボロネーズ」
グリーグ/ピアノ協奏曲 イ短調 作品16
チャイコフスキー/交響曲第6番 口短調 作品74「悲愴」



小林研一郎 ©K.Miura 仲道郁代 ©Kiyotaka Saito

日本フィルハーモニー交響楽団 ～ロマンティックな夕べ～

【開催日】3月13日(火) 19:00開演(18:00開場)

【出演】指揮/大井剛史 ヴァイオリン/大谷康子
【曲目】メンデルスゾーン/序曲「フィンガルの洞窟」作品26
メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64
シューベルト/交響曲第8番 八長調 D.944「ザ・グレート」



大井剛史 ©K.Miura 大谷康子 ©Masashige Ogata

東京都交響楽団 ～春の余韻～

【開催日】3月15日(木) 19:00開演(18:00開場)

【出演】指揮/梅田俊明 ヴァイオリン/パーヴェル・ミリューコフ
【曲目】ドヴォルザーク/序曲「謝肉祭」作品92
チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35
シューマン/交響曲第1番 変ロ長調 作品38「春」



梅田俊明 ©K.Miura パーヴェル・ミリューコフ

会場：東京芸術劇場 コン서트ホール

料 金(全席指定・税込)

【1回券】A席3,800円 B席2,800円 C席1,800円 学生A席3,000円 学生B席2,000円 学生C席1,000円

【全8公演セット券】26,800円(日本演奏連盟事務局(WEB&電話)のみ取扱い/300席限定)

【障害者割引】障害者手帳をお持ちの方は各席種半額となります。(日本演奏連盟事務局(WEB&電話)のみ取扱い)

※学生は25歳まで(日本演奏連盟事務局(WEB&電話)のみ取扱い/当日要学生証提示)
※車椅子席や補助犬同伴をご希望の方は事前に日本演奏連盟事務局へお申込みください。
※未成年はご入場いただけません。
※曲目及び演奏者は一部変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
※お申込みいただきましたチケットの変更・キャンセルはできませんのでご了承ください。
※公演当日貸出用の点字による曲目一覧があります。(部数限定/先着順)ご希望の方は当日受付にお申し出ください。

チケット取扱い

日本演奏連盟事務局 Tel.03-3539-5131(平日10:00～18:00)
日本演奏連盟WEB予約 <http://www.jfm.or.jp/>
東京芸術劇場ボックスオフィス Tel.0570-010-296(休館日を除く10:00～19:00) <http://www.geigeki.jp/t/>
チケットぴあ Tel.0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>

公演コード	東京フィルハーモニー交響楽団	NHK交響楽団	東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団	東京交響楽団
	345-708	345-709	345-710	345-711
	345-712	345-713	345-714	345-715

e+(イープラス) <http://eplus.jp/>(パソコン&携帯)
ローソンチケット Tel.0570-000-407(オペレーター10:00～20:00/Lコード33860) <http://l-tike.com/>

チケット発売中

主催・お問い合わせ:公益社団法人日本演奏連盟 Tel.03-3539-5131 <http://www.jfm.or.jp/>

東京芸術劇場託児室ご利用について

東京芸術劇場での公演をご鑑賞の際、お子様をお預かりします。
【お預かり対象】生後3ヵ月から小学校入学前のお子様(定員あり)
【お預かり時間】午前9:00～12:00 午後13:00～17:00 夜間18:00～22:00
【お申込み方法】お電話での事前予約(土・日・祝祭日を除くお預かり日一週間前まで)
【料金】1区分(午前・午後・夜間)あたり ～1歳児:2,560円(税込) 2～6歳児(就学前):2,160円(税込)
【お申込み・お問合せ】HITOWAキャリアサポート株式会社 わらべうた Tel.0120-415-306(平日9:00～17:00)
※ご予約の際「東京芸術劇場の託児予約の件で」とお問い合わせください。

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 Tel.03-5391-2111(代表)
●JR山手線・埼京線、東武東上線、西武池袋線、東武メトロ
有楽町線・丸ノ内線、副都心線「池袋駅」西口から徒歩2分
※池袋駅地下2b出口と直結



フランスとイタリアの作曲家による ヴェリズモ・オペラの競演

フランスの作曲家マスネがスペインを舞台に貧しい娘の途な恋の悲しい結末を描いた『ナヴァラの娘』、イタリアの作曲家レオンカヴァッロの『道化師』。日本初演となる『ナヴァラの娘』は、マスネ唯一の“ヴェリズモ・オペラ”と呼ばれ、イタリアの作曲家マスカーニの傑作『カヴァレリア・ルスティカーナ』にもなぞられることの多い作品です。2018年最初の公演として、藤原歌劇団はこの2作品を敢えて組み合わせ合わせて上演します。若手ベテランともに充実した同歌劇団の歌手陣、柴田真郁の指揮、東京フィルハーモニー交響楽団の演奏、そして同歌劇団公演には2012年の『フィガロの結婚』以来の登場となるマルコ・ガンディーニの新演出をお楽しみください。

藤原歌劇団公演 オペラ『ナヴァラの娘』(日本初演) 『道化師』 (日本語字幕付き原語上演)

『ナヴァラの娘』 マスネ作曲
時は1876年のスペイン。カルリスタ戦争が続くビルバオの街に、恋人アラキルを探して天涯孤独の娘アニタが現れる。戦場から戻ったアラキルとアニタは再会を喜び合うが、アラキルの父親レミージョは、よそ者で素性も知れぬアニタのことを認めない。「息子と結婚したいならば2000ドゥロスの持参金を払え」と言われ、途方にくれるアニタの耳に「カルリスタの司令官ズッカーラを殺害する勇氣のある者はいないのか」というガリードの言葉が聞こえ、彼女はある行動を起こすが……

『道化師』 レオンカヴァッロ作曲
南イタリア、カラブリア地方のとある町に、カニオ率いる旅芝居の一座がやってくる。醜いトニオは、カニオの妻ネッダに言い寄るが、彼女に手酷く追いつかれ、仕返しを誓う。そこにネッダの若い愛人シルヴィオが現れ、彼女と熱い抱擁をかわす。物陰からそれを見ていたトニオはカニオに告げ口をする。二人が今夜駆け落ちすることを約束する様子を見たカニオは、芝居の役柄である道化師(パリアッチョ)と我が身を重ね合わせて自嘲する。そして芝居が始まり、芝居と現実の境界がつかなくなったカニオが起こす行動とは……

{ 開催日 } 1月27日(土) — 28日(日)

公演日	1/27(土)	28(日)
開演	14:00	14:00

※開場は開演の60分前です。
※各回開演の45分前から客席で作品解説を実施します。
※予定上演時間約2時間30分(途中休憩あり)

〈総監督〉折江忠道
〈指揮〉柴田真郁 〈演出〉マルコ・ガンディーニ

〈出演〉
『ナヴァラの娘』
【 アニタ 】小林厚子(1/27) 西本真子(1/28)
【 アラキル 】小山陽二郎(1/27) 持木弘(1/28)
【 レミージョ 】坂本伸司(1/27) 大塚雄太(1/28)
【 ガリード 】田中大揮(1/27) 村田孝高(1/28)
【 ラモン 】松岡幸太(両日)
【ブスタメンテ】安東玄人(両日)

『道化師』
【 カニオ 】笹田博昭(1/27) 藤田卓也(1/28)
【 ネッダ 】砂川涼子(1/27) 佐藤康子(1/28)
【 トニオ 】牧野正人(1/27) 須藤慎吾(1/28)
【 ペッペ 】所谷直生(1/27) 澤崎一了(1/28)
【シルヴィオ】森口賢二(1/27) 岡 昭宏(1/28)

〈合唱〉藤原歌劇団合唱部 〈児童合唱〉多摩ファミリーシンガーズ
〈管弦楽〉東京フィルハーモニー交響楽団 〈合唱指揮〉須藤桂司 〈美術〉イタロ・グラッソ
〈衣裳〉シモーナ・モッレージ 〈照明〉奥畑康夫 〈舞台監督〉斎藤美穂 〈副指揮〉諸遊耕史、キハラ良尚 〈演出助手〉堀岡佐知子

会 場：東京文化会館 大ホール

料 金(全席指定・税込)
S席14,800円 A席12,800円 B席9,800円 C席8,800円 D席6,800円 E席2,500円
【ヤング・フレッシュマンチケット】S~D席を各席半額でご購入いただけます。
(25歳以下/枚数限定/日本オペラ振興会チケットセンター電話予約のみ取扱い)
【障害者割引】S~C席を各席20%引きでご購入いただけます。
(要お問い合わせ/日本オペラ振興会チケットセンター電話予約のみ取扱い)
※車椅子席、補助犬同伴をご希望の方は事前に日本オペラ振興会チケットセンターへお申込みください。
※未就学児はご入場いただけません。

チケット取扱い
日本オペラ振興会チケットセンター Tel.03-6721-0874(平日10:00~18:00)
https://www.jof.or.jp/
東京文化会館チケットサービス Tel.03-5685-0650(休館日を除く10:00~19:00)
http://www.t-bunka.jp/
チケットぴあ Tel.0570-02-9999(Pコード340-239)http://t.pia.jp/
e+(イープラス) http://eplus.jp/(パソコン&携帯)
ローソンチケット Tel.0570-000-407(Lコード34547)
http://l-tike.com/

チケット発売中
主催：公益財団法人日本オペラ振興会・公益社団法人日本演奏連盟
お問い合わせ：日本オペラ振興会チケットセンター Tel. 03-6721-0874
https://www.jof.or.jp/

東京文化会館
〒110-8716 台東区上野公園5-45 Tel.03-3828-2111(代表)
◆JR山手線・京浜東北線・常磐線・成田線・高崎線・東北本線「上野駅」公園口から徒歩1分
◆東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」7番出口から徒歩5分
◆京成線「京成上野駅」正面口

全てを尽くす愛を描いた日本オペラ不朽の名作

日本オペラの創造・普及・振興を目的として60年にわたる活動を続けてきた日本オペラ協会が、同じく日本オペラプロジェクトを続けている兵庫県芸術文化センターと組む共同プロダクション。2016年の『天守物語』に続く2作品目として選ばれたのは、日本オペラの代表作『夕鶴』です。オペラ『夕鶴』は、木下順二の名作戯曲『鶴女房』がそのまま團伊玖磨によりオペラ化された作品で、1952年の初演から800回以上上演され、今も高い人気を誇る日本オペラのひとつとして全国で上演されています。広く親しまれている民話『鶴のおんがえし』に基づくストーリーと美しい日本語台本、團伊玖磨の叙情性あふれる音楽のみならず、現代社会に対する深い洞察に満ちたその内容は、観る人たちに大きな衝撃と感動を呼び起こします。

日本オペラ協会公演 オペラ『夕鶴』1幕

あらすじ
舞台はある雪国の村。百姓の与ひょうに嫁いだつづの織る布は高く売れると評判でした。村の男の中でも狡猾な運ずと惣どは、与ひょうをたきつけて、つづにもっと布を織ってもらい、都で高く売ろうと誘いました。与ひょうはつづにもう一度あの布を織ってほしいと言います。つづは布を織ると痩せるので、布を織るのは最後までと約束したはずと断りますが、つづは、布を織って与ひょうに都に行かせてやる決心をします。ただし、布を織っている間は、決して機屋を覗かないと約束させました。しかし、運ずと惣どにつられて与ひょうも機屋を覗いてしまいます。痩せ細ったつづは、織り上げた2枚の布を持って機屋から出てきました。そして泣きながら、「機屋を見てしまった与ひょうとはもう一緒に暮らしていけない、もう人間の姿でいることはできないのだ」と言います。そして、遠くへと立ち去ってしまったのです。



2013年公演より 撮影 飯島隆 提供 兵庫県立芸術文化センター

{ 開催日 } 2月17日(土) — 18日(日)

公演日	2/17(土)	18(日)
開演	14:00	14:00

※開場は開演の60分前です。
※各回開演の45分前から客席で作品解説を実施します。
※予定上演時間約2時間15分(途中休憩あり)

〈総監督〉郡 愛子
〈作〉木下順二 〈作曲〉團伊玖磨

〈指揮〉園田隆一郎 〈演出〉岩田達宗

〈出演〉
【 つづ 】佐藤美枝子(2/17) 伊藤晴(2/18) 【運ず】柴山昌宣(2/17) 清水良一(2/18)
【与ひょう】中井亮一(2/17) 中鉢 聡(2/18) 【惣ど】泉良平(2/17) 豊島雄一(2/18)
ほか
〈児童合唱〉こどもの城児童合唱団 〈管弦楽〉東京フィルハーモニー交響楽団

〈美術〉島 次郎 〈衣裳〉半田悦子 〈照明〉原中治美 〈舞台監督〉菅原多取弘

会 場：新宿文化センター 大ホール

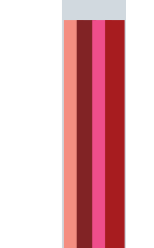
料 金(全席指定・税込)
S席12,000円 A席10,000円 B席8,000円 C席5,000円 D席2,500円
【ヤング・フレッシュマンチケット】S席~B席を各席半額でご購入いただけます。
(25歳以下/枚数限定/日本オペラ振興会チケットセンター電話予約のみ取扱い)
【ファミリーチケット】(S~B席対象)小学生~高校生は半額+同伴の保護者は2名まで
10%割引(日本オペラ振興会チケットセンター電話予約のみ取扱い)
【障害者割引】S席~B席を各席20%引きでご購入いただけます。
(要お問い合わせ/日本オペラ振興会チケットセンター電話予約のみ取扱い)
※車椅子席、補助犬同伴をご希望の方はチケットご購入時に日本オペラ振興会チケットセンターへお申込みください。
※未就学児はご入場いただけません。

チケット取扱い
日本オペラ振興会チケットセンター Tel.03-6721-0874(平日10:00~18:00)
https://www.jof.or.jp/
チケットぴあ Tel.0570-02-9999(Pコード346-637) http://t.pia.jp/
e+(イープラス) http://eplus.jp/(パソコン&携帯)
新宿文化センター(休館日を除く9:00~19:00/窓口のみ)

チケット発売中
主催：公益財団法人日本オペラ振興会・公益社団法人日本演奏連盟
共催：公益財団法人新宿未来創造財団
お問い合わせ：日本オペラ振興会チケットセンター Tel. 03-6721-0874 https://www.jof.or.jp/

新宿文化センター
〒160-0022 東京都新宿区新宿6-14-1 Tel. 03-3350-1141
◆東京メトロ副都心線・都営大江戸線「東新宿駅」A3出口から徒歩5分
◆東京メトロ丸の内線・副都心線「新宿三丁目駅」E1出口から徒歩7分





いのちをみつめて うたをこぼせ

百年の時。時代の渦。一つの家族を見つめ、時を刻んだ古時計。
どれだけの歌が、どれだけの涙がこぼされたのだろうか？

社会派の正道を歩む作品を手がけてきた俳優座が、新たな視点の家族劇を生み出します。軍靴の響きが忍び寄りつつある今、過去の誤ちを二度と繰り返さないよう歴史を見つめ直すために。そして、人間関係が薄れている現代社会で、他者と向き合い、時にはぶつかり合うほどに関わる「ぬくもり」の中にこそある希望を再確認し、未来へ繋げるために。1923年から2021年までの日本の約100年間で、ある一軒家を舞台に、時を隔てた7つの正月の景色で描き継がれます。平和・人権をテーマにした骨太な作風が好評の山谷典子が俳優座に所属する全世代の俳優陣に完全あて書きした新作を、映画・舞台など数々の作品で大衆を魅了してきた深作健太がそのダイナミックな演出手法で立体化し、誰もが親しめるエンターテインメントをお届けします。

劇団俳優座公演 『いつもいつも君を憶ふ』

1923年—関東大震災。その翌年の初めから物語は始まる。お茶の間の流行歌と共に時は流れ、二度目の東京オリンピックを終えた2021年。この約100年間を、埼玉県川越市のある一軒家を舞台に、時を隔てた七つの正月の景色で描き継ぐ。変わらないはずの日常は時にもろく崩れ、消えないはずの絆はその糸がほどける時もある。でも、いつもそこには人がいた、歌があった、そして一瞬の命のきらめきが溢れていた—。



{開催日} 1月11日(木) - 21日(日)

Table with 10 columns for dates (1/11 to 1/21) and 2 rows for showtimes (14:00, 19:00).

※開場は開演の30分前です。
※予定上演時間1時間50分(途中休憩なし)

★アフタートーク開催日 ゲスト15日:小森陽一(東京大学教授) 17日:山谷典子(脚本)
◆バックステージツアー開催日(有料/要予約/劇団取扱のみ) ○キッズスペース実施日(無料/要予約/3歳以上/劇団取扱のみ)

〈作〉山谷典子 〈演出〉深作健太
〈出演〉神山 寛、川口敦子、小笠原良知、河原崎次郎、美苗、有馬理恵、加藤 頼、芦田 崇、飯見沙織、杉林健生、後藤佑里奈

〈美術〉伊藤雅子 〈音楽〉吉川麻衣子 〈照明〉石島奈津子 〈映像〉芝山寛人(レイ) 〈効果〉木内拓 〈衣裳〉石川君子
〈舞台監督〉宮下 卓 〈企画〉有馬理恵、加藤 頼 〈現場制作〉中村恭子 〈制作〉劇団俳優座 演劇制作部
〈宣伝美術〉株式会社エーライフ 〈宣伝写真〉郡山総一郎 〈宣伝ヘアメイク〉野林あい 〈撮影協力〉福士恵美子

会 場：俳優座劇場

INFORMATION

料金(全席指定・税込)
一般5,400円 学生3,780円
チケット取扱い
チケット発売中
託児サービスのご案内
Map of the theater location near Yamanote Line stations.

清新なプロダクションで挑む ロマンティック・オペラの頂点

幕が開けば、そこはディズニーのシンデレラ城のモデルとしても知られるノイシュヴァンシュタイン城。窮地のプリンセスの前に、夢に見ていた白鳥の騎士が現れます。みんなに祝福され、早速彼と結婚することになりますが、そんな彼には秘密があるようで……。ワーグナーの名作『ローエングリン』は、誰もが耳にしたことのある「結婚行進曲」をはじめ、オーケストラの魅力も余すことなく味わえる作品です。2015年『ダナエの愛』で好評を得た映画監督・深作健太の演出&ドイツ音楽の名匠、準・メルクルの組み合わせで贈る待望のオペラ第2弾！
可憐なプリンセス、稀代の悪女、白鳥の騎士—— 2018年2月、新しいおとぎ話をお楽しみください。

東京二期会オペラ劇場 『ローエングリン』全3幕 (日本語字幕付きドイツ語上演)

領主が亡くなり、荒れるブラバント公国に赴いたドイツ国王ハインリヒは、テルラムント伯爵から訴えを受ける。それは、先代領主の遺児ゴットフリートをその姉エルザが殺害したというものでした。王の前に招聘された無実のエルザは何の釈明もせず、虚ろに「夢に見た騎士が自分を救い出してくれる」と語る。いよいよ決闘による裁判が開かれることになり、エルザのためにテルラムントと剣を交える騎士を募るが誰も応えない。エルザが神に祈りを捧げると夢に見た「白鳥の騎士」が現れた。その騎士はエルザに、決して自分の名前や正体を尋ねてはならないという約束をさせ、決闘に勝った際はエルザを妻にし、公国を治めると宣言する。見事決闘に勝利した騎士は、テルラムントを追放し、2人は人々に祝福を受ける。しかし追放されたテルラムントの妻オルトルートは、巧みにエルザに取り入り、素性のわからない騎士への疑念の心を焚きつけていく。2人の婚礼の日。華やかな合唱に送られて、婚礼の部屋へ入っていく2人だったが、エルザの疑念は頂点に達し、ついに「禁断の問い」を発してしまう...



{開催日} 2月21日(水) - 25日(日)

Table with 6 columns for dates (2/21 to 2/25) and 2 rows for showtimes (14:00, 18:00).

※開場は開演の60分前です。
※予定上演時間約4時間20分(休憩2回を含む)

〈台本・作曲〉リヒャルト・ワーグナー
〈指揮〉準・メルクル 〈演出〉深作健太
〈装置〉松井るみ 〈衣裳〉前田文子 〈照明〉喜多村 貴

- 【ハインリヒ・デア・フォークラー】小鉄和広(2/21・24) 金子 宏(2/22・25)
【ローエングリン】福井 敬(2/21・24) 小原啓楼(2/22・25)
【エルザ・フォン・ブラバント】林 正子(2/21・24) 木下美穂子(2/22・25)
【フリードリヒ・フォン・テルラムント】大沼 徹(2/21・24) 小森輝彦(2/22・25)
【オルトルート】中村真紀(2/21・24) 清水華澄(2/22・25)
【ローエングリン(青年時代)】丸山敦史(全日)
【王の伝令】友清 崇(2/21・24) 加賀清孝(2/22・25)

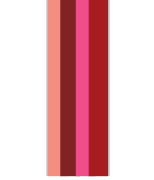
〈合唱〉二期会合唱団 〈管弦楽〉東京都交響楽団 〈合唱指揮〉増田宏昭 〈演出助手〉太田麻衣子
〈舞台監督〉八木清市 〈公演監督〉大野徹也 〈公演監督補〉牧川修一

会 場：東京文化会館 大ホール

料金(全席指定・税込)
S席17,000円 A席14,000円 B席11,000円 C席8,000円 D席5,000円 E席2,000円 学生席2,000円
【2月22日(木)平日マチネ・スペシャル料金】
S席15,000円 A席12,000円 B席10,000円 C席8,000円 D席5,000円 E席2,000円 学生席2,000円
チケット取扱い
チケット発売中
Map of the theater location near Yamanote Line stations.



INFORMATION





妻はなぜ変わってしまったのか— 現代日韓の潜在意識に切り込む意欲作

国内外の現代作家とともに上質な舞台作品を製作し、世に問い続けている名取事務所による新作公演。今回は、韓国で2001年に起きたテチャン号事件を題材とした舞台劇『海霧（ヘム）』の作家である金旼貞（キム・ミンジョン）に新作を委嘱。東京、ソウル間の幾度にも渡る打ち合わせの末、日韓共通のテーマを現代社会に潜在するシャーマニズム—韓国では「ムーダン（巫堂）」、日本では東北地方における「イタコ」や沖縄の「ユタ」など—に見出し、とある実話をベースにした家族の物語が描かれます。現代社会に生きる人々が無意識下に追いやっている狂気・狂信が突如として噴出して来るのは何故なのか。現代演劇の創作を通じた日韓交流の一つの着地点を目撃しにいらしてください。

名取事務所公演 『渴愛』

生活のために高校の美術教師をしているシン・ジェソプ。ムーダン（巫堂）の一族に育ち、舞踊家で絵のモデルだった彼の妻は今刑務所にいる。ジェソプは今、妻の憑依（神がかり）を解くには、前に妻が養子にしたジンギを殺さなければならぬと思っている。妻は18歳のジンギを養子にした後、ジンギと家を出て同居をして詐欺罪で刑務所に収監され、あと1年で刑期を終えて出てくる予定だ。ジェソプは妻を待つが、妻は夫の元に戻るつもりはない。出所日が近づくとジェソプは不安になる。妻が再びジンギを見つけ、自分のそばを離れていくのではないかと……。



【開催日】3月9日（金）—18日（日）

公演スケジュール表

〈脚本〉金 旼貞（キム・ミンジョン） 〈翻訳〉石川樹里 〈演出〉寺十 吾

〈出演〉【シン・ジェソプ】渡辺 聡 【イム・ヒジン】大橋 楠子
【ヤン・ソヨン】森尾 舞 【巫女（ソヨンの母）】青山 眉子
【シン・ヒョンス】窪田 亮 【踊り手】洪 明花
【ホン・ジンギ】西山聖了

〈振付〉洪 明花 〈衣裳〉樋口 藍 〈照明プラン〉桜井真澄 〈舞台美術デザイン〉杉山 至
〈音響プラン〉岩野直人 〈舞台監督〉小島とら 〈制作〉栗原暢隆、松井伸子 〈プロデューサー〉名取敏行

会 場：小劇場B1

料 金（全席指定・税込）

一般前売4,000円 一般当日4,500円

学生1,000円（枚数限定／当日要証明書提示）

シニア3,000円（枚数限定／当日要証明書提示）

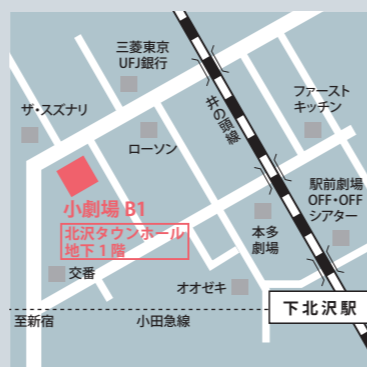
※障害者手帳をお持ちの方の介助者は1名まで無料となります。
ご希望の方は名取事務所（電話&メール）へ事前にお申込みください。
※車椅子席、補助犬同伴をご希望の方はチケットご購入時に名取事務所へお申込みください。
※聴覚障害のある方に、開演3時間前より劇場ロビーで上演台本をお貸しします。
ご希望の方は名取事務所（電話&メール）へ事前にお申込みください。
※未就学児はご入場いただけません。

チケット取扱い

名取事務所 Tel.03-3428-8355
名取事務所オンラインチケットサービス <http://www.nato.jp/>
Confetti（カンフェティ） Tel.0120-240-540（オペレーター平日10:00～18:00）
<http://confetti-web.com/>

チケット発売日 2018年1月31日（水）

主催・お問い合わせ：名取事務所 Tel.03-3428-8355 Eメール thntr123@ybb.ne.jp
<http://www.nato.jp/>



小劇場B1
〒155-0031 世田谷区北沢2-8-18北沢タウンホール
地下1階 Tel.03-6416-8281
◆小田急線・京王井の頭線「下北沢駅」南口から徒歩6分



今なお多くの人を惹きつけてやまない 「竹内浩三」と、現代の高校生が会ったら

『骨のうたう』『ぼくもいくさに征くのだけれど』『三ツ星さん』など、瑞々しい感性と鋭い洞察で、ユーモラスな詩を数多く残し23歳の若さで戦死した竹内浩三。戦地においてなお創作をやめず、「死」をも俯瞰する詩作のなかで常に「なぜ」「なんのために」を問い続けた浩三の詩は、混沌の現代において今注目を浴びています。そんな彼に、もし現代の高校生が会ったとしたら……？
脚本は、浩三と同郷の伊勢出身で、社会のひずみを若者の視点から描き続ける劇団、TOKYOハンバーグの大西弘記、演出には旗揚げ26年となる劇団フライングステージ主宰の関根信一を迎え、等身大の高校生の姿を通して現代の私たちに「生」のありようを問いかけます。

青年劇場 第118回公演 『きみはいくさに征ったけれど』

幼いころに父を亡くした高校生の宮斗は家にも学校にも居場所を見いだせない。ある日、彼の前に一人の青年が現れる。「なんしとん？」
夏休み、宮斗は祖母が暮らす伊勢へ向かう。そこで出会った人々と、その地に生まれた詩人・竹内浩三の生き方に触れるうちに、宮斗の中で何かが変わり始める……。



写真提供 藤原書店

【開催日】3月13日（火）—18日（日）

公演スケジュール表

〈作〉大西弘記
〈演出〉関根信一

〈出演〉島野仲代、中川為久朗、福原美佳、秋山亜紀子、高山康宏、矢野貴大、
林田悠佑、池田咲子

〈美術〉乗峯雅寛 〈照明〉河崎 浩 〈音響効果〉石井 隆 〈衣裳〉宮岡増枝
〈舞台監督〉新庄広樹 〈演出助手〉清原達之 〈製作〉白木匡子、佐藤尚子



島野仲代 矢野貴大



林田悠佑 池田咲子

会 場：紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA

料 金（全席指定・税込）

一般5,150円

U30（30歳以下）3,100円

中高生シート1,000円（枚数限定／劇団のみ受付／前売のみ）

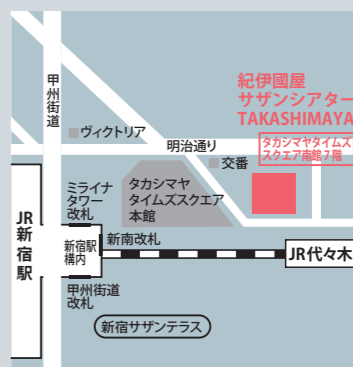
※車椅子席、補助犬同伴をご希望の方は事前に青年劇場へお申込みください。
※未就学児はご入場いただけません。

チケット取扱い

青年劇場チケットサービス Tel.03-3352-7200 Eメール ticket@seinengekijo.co.jp
<http://www.seinengekijo.co.jp/>
チケットぴあ Tel.0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>
キノチケットカウンター（休館日を除く10:00～18:30／窓口のみ）
キノチケオンライン <https://www.kinokuniya.co.jp>

チケット発売日 2018年2月1日（木）

主催・お問い合わせ：秋田雨雀・土方与志記念青年劇場 Tel.03-3352-6922
<http://www.seinengekijo.co.jp/>



紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-24-2 Tel.03-5361-3321
タカシマヤタイムズスクエア南館7階
◆JR「新宿駅」新南改札より徒歩5分、南口より徒歩8分
◆JR「代々木駅」東口より徒歩5分
◆東京メトロ副都心線「新宿三丁目駅」E6出口より徒歩5分



世代を越えて楽しめる古典名作バレエの決定版

物語の舞台となる明るく情熱的なスペインの雰囲気と、クラシック・バレエにおける超絶技巧を存分に堪能できる『ドン・キホーテ』は、世界中で上演されている人気演目であり、バレエの本質を、初心者からバレエ・ファンまで幅広い観客が堪能できる作品です。主役カップルの駆け引きや、ドン・キホーテの従者サンチョ・パンサ、主役キトリが無理やり結婚させられそうになるガマーシュなどの、ユーモアたっぷりの演技も見逃せません。

牧阿佐美バレエ団のレパートリーの中でも抜群の人気を誇るこの作品に、世界の大バレエ団の中でもトップの存在感を誇るロシアのポリショイ・バレエのプリンシパル、エフゲーニヤ・オブラストォワとバレエ大國ロシアにあってドラマティック・バレエで特色を示す国立モスクワ音楽劇場バレエ団のシニア・プリンシパル、ドミートリー・ソボレフスキーを招聘。このゲスト出演により一層際立った舞台をお届けします。

牧阿佐美バレエ団公演 『ドン・キホーテ』全幕

あらすじ

気のいい下級貴族のドン・キホーテは、騎士道物語を読んで夢中になるあまり、現実と空想の区別がつかなくなっていました。そして、サンチョ・パンサをお供に従えて、憧れのドルシニア姫を探す旅に出ます。やって来たバルセロナの町で、魅力的なキトリとバジルの若いカップルに出会い、二人の結婚を取り持ちます。やがて夜になり、ジブシーたちの野営地で人形劇を楽しんでいたドン・キホーテは、物語に登場する悪者に挑み、芝居を壊してしまいます。そして回り始めた風車を巨大な敵と勘違いして突撃すると、風車の羽に引っ掛かり、地面に叩きつけられて気を失います。目を覚ますとそこは森の中。そして美しいドルシニア姫が現れます…。

{開催日} 3月3日(土) - 4日(日)

公演日	3/3(土)	4(日)
14:30		●
15:00	●	

※開場は開演の45分前です。
※予定上演時間約2時間30分(途中休憩あり)

〈音楽〉レオン・ミンクス

〈演出・振付〉アザーリ・M.ブルセツキー、ワレンティエーナ・サーヴィーナ(プティバ、ゴルスキー版に基づく)

〈美術・装置〉川口直次 〈衣装〉川口弘子

〈出演〉

【キトリ】エフゲーニヤ・オブラストォワ(ポリショイ・バレエ)

【バジル】ドミートリー・ソボレフスキー(国立モスクワ音楽劇場バレエ団)

青山季可、日高有梨、茂田絵美子、織山万梨子、米澤真弓、久保茉莉恵、中川 郁、佐藤かんな、三宅里奈、阿部裕恵、太田朱音、菊地 研、清瀧千晴、ラグワスレン・オトゴンニヤム、塚田 渉、保坂アントン慶、今 勇也、坂爪智来、濱田雄冴、中島哲也、細野生、石田亮一、ほか牧阿佐美バレエ団

〈指揮〉デヴィッド・ガルフォース 〈管弦楽〉東京オーケストラMIRAI

会場：文京シビックホール 大ホール

料 金(全席指定・税込)

S席11,000円 A席8,000円 B席5,000円

S席ペア20,000円 A席ペア15,000円 B席ペア9,500円

【学生割引】A席4,000円 B席3,000円(当日券のみ/座席選択不可/要学生証提示)

【都民芸術フェスティバル特別料金】3,000円(2018年2月3日(土)よりバレエ団オフィシャルチケット(WEBのみ)で発売開始/座席選択不可)

※車椅子席、補助犬同伴をご希望の方は事前にバレエ団へお問い合わせください。
※4歳以上からご入場いただけます。

チケット取扱い

牧阿佐美バレエ団オフィシャルチケット <http://www.ambt.jp>
 チケットぴあ [Tel.0570-02-9999](http://t.pia.jp/)(Pコード482-577) <http://t.pia.jp/>
 楽天チケット <http://r-t.jp/ambt/>
 e+(イープラス) [http://eplus.jp/\(パソコン&携帯\)](http://eplus.jp/(パソコン&携帯))
 シビックチケット [Tel.03-5803-1111](http://bunkyocivichall.jp/ticket.html)(休館日を除く10:00~19:00) <http://bunkyocivichall.jp/ticket.html>

チケット発売中

主催・お問い合わせ：一般財団法人牧阿佐美バレエ団 [Tel.03-3360-8251](http://www.ambt.jp)(平日10:00~18:00) <http://www.ambt.jp>



©Takashi Shikama



エフゲーニヤ・オブラストォワ ドミートリー・ソボレフスキー ©Damir Yusupov

創立50周年を記念し、バレエ団の財産演目を更新する話題の舞台

1946年にバレエ『白鳥の湖』が日本人ダンサーによって初めて日本で全幕上演されたとき、舞台美術を手がけたのはレオナルド・フジタの名でも知られる画家・藤田嗣治でした。フジタ没後50周年を迎える今年、舞台演出家の佐野勝也が生涯をかけて研究した藤田嗣治の舞台美術と、東京シティ・バレエ団がレパートリーとする石田種生版『白鳥の湖』が持つ日本人の感性、精神性を融合し、新たな『白鳥の湖』の舞台を生み出します。指揮は、世界中の観客・批評家から称賛される大野和士。自身が音楽監督をつとめる東京都交響楽団とともに、美しいチャイコフスキーの音楽を奏でます。総合芸術であるバレエの醍醐味を存分にご堪能いただける本公演。どうぞご期待ください。

東京シティ・バレエ団創立50周年記念公演 『白鳥の湖』～大いなる愛の讃歌～

悪魔の呪いで白鳥の姿にされてしまった娘たちは、深夜のひと時だけ、限られた時間を与えられている。狩りに来たジークフリート王子は白鳥の女王オデットと出会い、恋に落ちる。悪魔ロートバルトの叫びはオデットへの真実の愛によってのみ解くことが出来ると知り、王子はオデットに永遠の愛を誓う。翌日の舞踏会で、王子は花嫁を選ぶ必要に迫られる。王子は計略にはまりオデットに愛を誓ってしまう。湖のほとりでは嘆き悲しむオデットに心から許しを乞う王子の思いが通じると、二人の愛は白鳥たちを奮い立たせる。すると、悪魔の魔力は解かれ、白鳥たちは人間に甦り、夜明けを迎える。

{開催日} 3月3日(土) - 6日(火)

公演日	3/3(土)	4(日)	5(月)	6(火)
15:00		●		
17:00	●			
18:30			●	

※開場は開演の60分前です。
※予定上演時間2時間30分(途中休憩あり)

〈音楽〉P.I.チャイコフスキー 〈演出・振付〉石田種生(プティバ・イワノフ版による)

〈美術〉藤田嗣治©Fondation Fujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo 2018

〈出演〉

【オデット/オディール】ヤーナ・サレンコ(3/3・6) 中森理恵(3/4)

【ジークフリート王子】ディヌ・タムズラカル(3/3・6) キム・セジョン(3/4)

【ロートバルト】李 悦(3/3・6) 石黒善大(3/4)

ほか、東京シティ・バレエ団

〈指揮〉大野和士 〈管弦楽〉東京都交響楽団

〈芸術監督〉安達悦子 〈演出(再演)〉金井利久 〈演出助手〉中島伸欣

〈バレエマスター(ゲスト)〉ウラジーミル・マラーホフ ヴィスラフ・デュディック

〈バレエマスター〉小林洋希

〈バレエミストレス〉長谷川祐子、山口智子、加藤浩子

〈バレエミストレス(民族舞踊)〉小林春恵

〈美術製作〉堀尾幸男 〈照明〉足立 恒 〈衣装〉小栗菜代子 〈衣装製作〉工房いちち

〈大道具製作〉東宝舞台 〈舞台監督〉森岡 肇



©Takashi Shikama



©Takashi Shikama

会場：東京文化会館 大ホール

料 金(全席指定・税込)

【3月3日(土)・6日(火)】S席10,000円 A席8,000円 B席6,000円 C席4,000円 D席3,000円 学生席(D席相当)2,000円

【3月4日(日)】S席8,000円 A席7,000円 B席5,000円 C席4,000円 D席3,000円 学生席(D席相当)2,000円

※学生席は高校生以上25歳以下の学生対象。バレエ団のみ取扱い。(当日要学生証提示)
 ※車椅子席、補助犬同伴をご希望の方は事前にバレエ団へお申込みください。
 ※6歳以上からご入場いただけます。

チケット取扱い

東京シティ・バレエ団 [Tel.03-5638-2720](http://www.tokyocityballet.org/)(平日10:00~18:00) <http://www.tokyocityballet.org/>

チケットぴあ [Tel.0570-02-9999](http://t.pia.jp/)(Pコード482-811) <http://t.pia.jp/>

都響ガイド [Tel.0570-056-057](https://yyk1.ka-ruku.com/tmso-r/)(平日10:00~18:00) <https://yyk1.ka-ruku.com/tmso-r/>

ディアラこうちうチケットサービス [Tel.03-5624-3333](https://www.kcf.or.jp/yoyaku/ticket/)(第1・3月曜日を除く9:00~21:00) <https://www.kcf.or.jp/yoyaku/ticket/>

チケット発売中

主催・お問い合わせ：公益財団法人東京シティ・バレエ団 [Tel.03-5638-2720](http://www.tokyocityballet.org/)(平日10:00~18:00) <http://www.tokyocityballet.org/>



東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45 [Tel.03-3828-2111](http://www.tokyocityballet.org/)(代表)
 ◆JR山手線・京浜東北線・常磐線・成田線・高崎線・東北本線
 「上野駅」公園口から徒歩1分
 ◆東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」7番出口から徒歩5分
 ◆京成線「京成上野駅」正面口



新たな振付・演出のもと、 全国の精鋭ダンサーを集めて取り組む意欲作

十字軍遠征時代の中世ヨーロッパを舞台に伯爵令嬢ライモンダと彼女の婚約者、名高い騎士のジャン・ド・ブリエンヌ、そしてライモンダに想いを寄せるサラセンの首長アブドルラクマンを中心に織り成される絢爛豪華なグランド・バレエ『ライモンダ』。名匠マリウス・プティパが原振付を行った当時の東洋趣味が色濃く反映された作品であり、主役によるパ・ド・ドゥは勿論のこと数多くのソロ・パート、そして要所々に挿入される時にロマンティックな、時にダイナミックな群舞の数々と、見どころ満載の作品です。

日本バレエ協会公演として初演目となるこの作品を、ウラジオストク・マリンスキー劇場バレエ芸術監督エリダール・アリーエフによる新振付・新演出により上演します。

日本バレエ協会公演 『ライモンダ』全幕

十字軍遠征時代の中世フランス。シヴィル・ド・トリ伯爵夫人の館では、夫人の姪ライモンダの聖名日の宴が行われようとしています。そこにライモンダの許婚でありハンガリー王アンドラーシュ2世とともに東方への出征を控えた騎士ジャン・ド・ブリエンヌもお祝いに現れました。二人はしばしの別れに名残を惜しみ、愛を誓い合います。ジャンが去った広間で、ライモンダは友人のエンリエッタ、クレメンス、ヴェランジェ、ベルナルドらと踊りますが、やがて眠りに落ちてしまいます。夢の中で、ライモンダは天空の乙女たちに囲まれてジャンと踊りますが、ジャンは突然消え去り代わって見知らぬサラセン人の男が現れて情熱的に愛を訴えます。困惑するライモンダ。彼女は夢の中で波乱の予言を受けたのです。

【開催日】3月10日(土) - 11日(日)

公演日	3/10(土)	11(日)
開演	13:00	18:00
	●	●

※開場は開演の45分前です。
※各回開演前に作品レクチャー(プレトーク)を実施します。
※予定上演時間2時間30分(途中休憩あり)

〈音楽〉アレクサンドル・グラスノフ
〈原振付〉マリウス・プティパ 〈新振付・演出〉エリダール・アリーエフ

〈出演〉
【ライモンダ】下村由理恵(3/10) 米沢唯(3/11 13:00) 酒井はな(3/11 18:00)
【ジャン・ド・ブリエンヌ】橋本直樹(3/10) 芳賀望(3/11 13:00) 浅田良和(3/11 18:00)
ほか、日本バレエ協会所属ダンサー

〈指揮〉アレクセイ・バクラン 〈管弦楽〉ジャパン・バレエ・オーケストラ

〈バレエ・ミストレス〉佐藤真左美、鈴木未央、角山明日香 〈照明デザイン〉沢田祐二
〈舞台監督〉森岡肇 〈衣裳〉タウン・ステージ

会場：東京文化会館 大ホール



下村由理恵



橋本直樹



米沢唯



芳賀望



酒井はな



浅田良和

コンテンポラリーダンス、現代舞踊、フラメンコ、 それぞれのスペクタクル

一般社団法人現代舞踊協会は、コンテンポラリーダンス、モダンダンスを中心として、フラメンコ、ハワイアン、ジャズダンスなど幅広い創作舞踊家により構成され、広く現代舞踊の普及振興に努めています。今回の都民芸術フェスティバルでは同協会が制定する「江口隆哉賞(野坂公夫・坂本信子)」「河上鈴子記念スペイン舞踊賞(石井智子)」「時代を創る現代舞踊公演 優秀賞(菊地尚子)」それぞれの受賞者によるバラエティに富んだ作品を紹介。

オーセンティックな野坂・坂本の現代舞踊作品をはじめ、身体を極限まで酷使する菊地のコンテンポラリーダンス、舞踊に物語性を融和させた石井のスペイン舞踊を、それぞれ20名以上の群舞によるスケールの大きな舞台でお楽しみください。

現代舞踊公演 魂のDance in Tokyo

- 菊地尚子『シンフォロニカ・フィジクロニクル』
- 石井智子『グラナダーロールカー』
- 野坂公夫・坂本信子『時の器』

【開催日】3月15日(木) - 16日(金)

公演日	3/15(木)	16(金)
開演	19:00	
	●	●

※開場は開演の30分前です。
※予定上演時間1時間30分(途中休憩あり)

● 菊地尚子『シンフォロニカ・フィジクロニクル』

〈振付〉菊地尚子
〈出演〉木原浩太、大前裕太郎、西村 葵、田中麻友美、菅原さち香、山西香澄、安達 雅、田中朝子、田中島梢、岡崎彩音、森川瑠子、小俣佳美、河合佑果、鈴木泰羽、袴田裕那、平井万結、今村 櫻、横井伽歩、松浦杏慈、村上瑠音、菊地尚子



菊地尚子



撮影 大河博晴

● 石井智子『グラナダーロールカー』

〈振付〉石井智子
〈出演〉石井智子、原 麻沙美、松本美緒、桑木 麗、小木曾衣里子、谷口祐子、清水真由美、福田慶子、樋口万希子、角谷のどか、岡田美恵子、森 友美、松田知也、土方憲人、中原 潤、岩崎蒼生
〈協力出演〉中上恵里奈、藤丸莉沙、葛原恵里子、吉田恵美、福原美子、成田美香、藤浪典子、早川 幸、江見佳緒里、檜原蓮琉、水野勝瑛、竹内 鈴、中上 碧、佐村朋果
〈演奏〉【ギター】エミリオ・マジヤ 【パーカッション】海沼正利
【カンテ】エル・プラテアオ、井上 泉 【コーラス】山田英史子、石寄真理
【バイオリン】平松加奈



石井智子



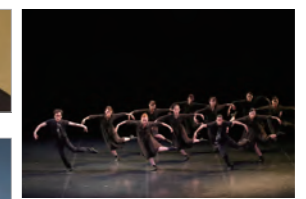
撮影 川島浩之

● 野坂公夫・坂本信子『時の器』

〈振付〉野坂公夫・坂本信子
〈出演〉野坂公夫、坂本信子、川村 昇、明尾真弓、近藤明美、高橋利枝、福井ゆい、鹿内京子、池田美佳、岡 由利亜、磯 結夏、吉藤麻理菜、佐藤樹理愛、小野梨奈、吉村早紀、江口香織、大槻紗絵、藤本 舞、足立真珠、星 瑠奈



野坂公夫



撮影 スタッフ・テス

〈照明〉杉浦弘行 〈音響〉山本直 〈舞台監督〉田中英世

会場：東京芸術劇場 プレイハウス

料金(全席指定・税込)

前売・当日4,000円
学生1,000円(2階2席/現代舞踊協会に要事前申込/当日要学生証提示)

※障害者手帳をお持ちの方およびその介助者は半額となります。ご希望の方は現代舞踊協会へお申込みください。
※車椅子席、補助犬同伴をご希望の方は事前に現代舞踊協会へお申込みください。
※未就学児のご入場にあたっては、事前に現代舞踊協会へご相談ください。

チケット取扱い

東京芸術劇場ボックスオフィス Tel.0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00)
http://www.geigeki.jp/t/
チケットぴあ Tel.0570-02-9999(コード482-580) http://t.pia.jp/
現代舞踊協会 Tel.03-5457-7731

チケット発売日 2018年1月10日(水)

主催・お問い合わせ：一般社団法人現代舞踊協会 Tel.03-5457-7731
http://www.gendaibuyou.or.jp/

【託児サービスのご案内】詳細は、本誌5頁をご覧ください。

料金(全席指定・税込)

SS席12,000円 S席10,000円 A席8,000円 B席6,000円 C席4,000円

※18歳未満及び65歳以上の方は、当日券に限り各席種2,000円引きとなります。(要年齢のわかるもの提示)
※車椅子席、補助犬同伴をご希望の方は事前に日本バレエ協会へお申込みください。
※4歳以上からご入場いただけます。

チケット取扱い

公益社団法人日本バレエ協会 Tel.03-5437-0372(平日10:00~17:00)
インターミュージック・トーキョウ Tel.03-3475-6870
チケットぴあ Tel.0570-02-9999(コード483-388) http://t.pia.jp/
東京文化会館チケットサービス Tel.03-5685-0650(休館日を除く10:00~19:00)
http://www.t-bunka.jp/
e+(イープラス) http://eplus.jp/(パソコン&携帯)

チケット発売中

主催・お問い合わせ：公益社団法人日本バレエ協会 Tel.03-5437-0372 http://www.j-b-a.or.jp/



東京文化会館
〒110-8716 台東区上野公園5-45 Tel.03-3828-2111(代表)
◆JR山手線・京浜東北線・常磐線・成田線・高崎線・東北本線
「上野駅」公園口から徒歩1分
◆東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」7番出口から徒歩5分
◆京成線「京成上野駅」正面口

料金(全席指定・税込)

前売・当日4,000円
学生1,000円(2階2席/現代舞踊協会に要事前申込/当日要学生証提示)

※障害者手帳をお持ちの方およびその介助者は半額となります。ご希望の方は現代舞踊協会へお申込みください。
※車椅子席、補助犬同伴をご希望の方は事前に現代舞踊協会へお申込みください。
※未就学児のご入場にあたっては、事前に現代舞踊協会へご相談ください。

チケット取扱い

東京芸術劇場ボックスオフィス Tel.0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00)
http://www.geigeki.jp/t/
チケットぴあ Tel.0570-02-9999(コード482-580) http://t.pia.jp/
現代舞踊協会 Tel.03-5457-7731

チケット発売日 2018年1月10日(水)

主催・お問い合わせ：一般社団法人現代舞踊協会 Tel.03-5457-7731
http://www.gendaibuyou.or.jp/

【託児サービスのご案内】詳細は、本誌5頁をご覧ください。



東京芸術劇場
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 Tel.03-5391-2111(代表)
◆JR山手線・埼京線・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ
有楽町線・丸の内線・副都心線「池袋駅」西口から徒歩2分
※池袋地下2b出口と直結





邦

楽

JAPANESE TRADITIONAL MUSIC

さまざまな邦楽や和楽器に出会い、 多方面から楽しめる演奏会

長唄、小唄、常磐津、清元、新内、義太夫、三曲、琵琶、古曲の9つの邦楽ジャンルが勢揃いする豪華な邦楽演奏会。今回は、親子向けの第1部、大人向けの第2部及び第3部の3部構成とし、お好きな部を選んで鑑賞いただけるようになっています。第1部では、子供も楽しめる『人形風土記』、『桃太郎』(長唄)、『浦島太郎』(琵琶)、『新山姥(金太郎)』(常磐津)を演目を選び、さらに様々な和楽器の中から今回は尺八を取り上げて、その楽器紹介を行う解説も組み込みます。第2部、第3部では、「明治150年」をテーマに、明治時代に縁のある演目を選び、人間国宝をはじめとする芸達者な実演家たちによる演奏を披露します。邦楽初心者、愛好者を問わず、全世代の方に邦楽の楽しみ方を提案する演奏会です。

第48回 邦楽演奏会

{開催日} 3月4日(日)

●第1部 10:45開演(10:30開場/11:45終演予定)
「親子で楽しむ邦楽演奏会」

- | | |
|--|--|
| <p>●常磐津『新山姥(金太郎)』
●楽器解説<<尺八>>
●現代邦楽『人形風土記』</p> | <p>常磐津若羽太夫(浄瑠璃) 常磐津美寿郎(三味線) ほか
声垣翠聖、田嶋謙一
望月美都輔(篠笛) 友常昆山(尺八)
杵屋三澄那(三味線) 首藤久美子(琵琶)
平田紀子(箏1) 山水雅楓(箏2)
田中奈央一(十七絃) 梅屋喜三郎(打楽器) ほか
平野旭鶴
稀音家清水(唄) 稀音家薫(三味線) ほか</p> |
|--|--|

●第2部 13:30開演(13:00開場/15:30終演予定/途中休憩あり)
「明治150年にちなんだ演目を中心に」

- | | |
|--|--|
| <p>●三曲『嵯峨の秋』
●一 中 節『松襲』
●義太夫『良弁杉由来 東大寺の段』
●琵琶『影義隊』
●常磐津『辰橋』
●新内『明治一代女』</p> | <p>山川園松(箏替手) 山川芳子(箏本手) ほか
宇治紫文(浄瑠璃) 宇治紫月(三味線) ほか
竹本綾之助(浄瑠璃) 鶴澤津賀花(三味線)
須田誠舟
常磐津津太夫(浄瑠璃) 常磐津菊志郎(三味線) ほか
富士松鶴千代(浄瑠璃) 新内勝一朗(三味線) ほか</p> |
|--|--|

●第3部 17:00開演(16:30開場/19:00終演予定/途中休憩あり)
「明治150年にちなんだ演目を中心に」

- | | |
|---|---|
| <p>●清元『青海波』
●荻江節『深川八景』
●小唄『花筏/梅は咲いたか』
●小唄『明治は遠く』
●小唄『座敷や引けすぎ/雪はしんしん』
●新内『十三夜』
●義太夫『壺坂観音霊験記 沢市内の段』
●長唄『元禄風花見踊』</p> | <p>清元延栄一(浄瑠璃) 清元延秀佳(三味線) ほか
荻江佐記(浄瑠璃) 荻江八千代(三味線) ほか
千紫巴恵佳(唄) 史美いち絵(糸) ほか
田毎てる三(唄) 田毎てる幸(糸)
春竹利昭(唄) 松峰照(糸)
岡本宮之助(浄瑠璃) 鶴賀喜代寿郎(三味線) ほか
竹本土佐子、竹本土佐恵(浄瑠璃) 鶴澤寛也(三味線)
杵屋三左衛門(唄) 杵家弥七(三味線) 望月美沙輔(囃子/笛) ほか</p> |
|---|---|

[邦楽器体験コーナー] 第1部、第2部、第3部開演前・休憩時 三味線・琴・尺八・琵琶・鳴り物など体験指導も実施

会場：国立劇場 小劇場



三曲「子供のための組曲」



琵琶「文福茶釜」



小唄「花夜」



長唄「風流船唄」

写真：「第47回邦楽演奏会」より

現在の日本舞踊の全容を知ることのできる 最大規模の公演

「日本舞踊協会公演」は、通常は流派ごとの活動を基盤としている現代の代表的な日本舞踊家が、その流派を越えて共演する規模・水準ともに最高レベルの日本舞踊公演です。今回も、人間国宝や日本芸術院会員から20代の若手まで、現在の日本舞踊界を代表する舞踊家が集い、『双面』、『鏡獅子』、『太刀盗人』、『棒しばり』、『勢獅子』、『三社祭』など華やかな人気古典舞踊作品をはじめ、近年創作され評価の高い『扇の寺』などの創作作品、上方の地歌舞『おちやめのと』などを2日間、4部にわたり上演します。

第61回 日本舞踊協会公演

{開催日} 2月17日(土) — 2月18日(日)

●2月17日(土)

昼の部 12:00 開演

- 常磐津『寿万歳』
●長唄『雨の四季』
●清元『吉野山』
●長唄『絲綢之路』
●常磐津『双面』

●2月18日(日)

昼の部 12:00 開演

- 富本『豊国万歳』
●長唄・常磐津・義太夫
●『新版酒餅合戦』
●清元『三社祭』
●荻江『金谷丹前』
●長唄『太刀盗人』

●2月17日(土)

夜の部 16:30 開演

- 新邦楽『阿蘭陀万歳』
●奏風楽『花影風韻』
●長唄『春興鏡獅子』
●地歌『おちやめのと』
●長唄『棒しばり』

●2月18日(日)

夜の部 16:30 開演

- 義太夫『万歳』
●清元『六玉川』
●常磐津『靉猿』
●長唄『扇の寺』
●常磐津『勢獅子』



長唄「二人道成寺」 尾上興・市川はたん



清元「喜撰」 花柳基・水木佑歌



長唄「一人の乱」 花柳寿美・若柳吉蔵



「にっぽんまつりの四季」

写真：「第60回記念日本舞踊協会公演」より

※開演は開演の30分前です。
※予定上演時間 各部約4時間(途中休憩あり)

<出演> 吾妻徳穂、井上八千代、中村梅彌、西川篤乃助、花柳昌太郎、花柳輔太郎、花柳寿美、藤間勘右衛門(尾上松祿)、藤間藤太郎、若柳壽延 ほか 約100名

会場：国立劇場 大劇場

INFORMATION

料金(税込)

各部1等席(指定席)8,500円 各部2等席(指定席)5,000円 各部3等席(自由席/3階)2,000円

【障害者割引】障害者手帳をお持ちの方は1等席と2等席にかぎり2割引となります。(日本舞踊協会事務局へ電話にて要事前申込)

【U25割引】25歳以下のお客は1等席と2等席にかぎり公演当日会場受付にて500円キャッシュバックいたします。(要証明書提示)

※各部入替制となります。
※車椅子席、補助犬同伴をご希望の方は、事前に日本舞踊協会へお申込みください。

チケット取扱い

チケットぴあ Tel.0570-02-9999(Pコード483-160) <http://t.pia.jp/>
ヴォータル・チケットセンター Tel.03-5355-1280 <http://buytickets.pia.jp/votre/>
国立劇場チケットセンター(休館日を除く10:00~18:00/窓口のみ)

チケット発売日 2017年12月20日(水)

【第61回日本舞踊協会公演プレレクチャー】 各回の見どころや鑑賞のポイントをわかりやすく解説します。

日時：1月25日(木)14:00~15:30(開場13:30) 場所：国立劇場伝統芸能情報館3階 レクチャー室
講師：古井戸秀夫(東京大学名誉教授・日本舞踊協会副会長) 無料(100名定員/先着順/要事前申込)

- ① 2018年1月15日(月)までにメールあるいはFAXでお申し込みください。
申込み方法
①メールでのお申し込み
件名の欄に「レクチャー申込」と記入し、参加希望者全員の氏名(ふりがな)、代表者の住所・電話番号・メールアドレス記入の上、info@nihonbuyou.or.jp へ送信してください。
②FAXでのお申し込み
所定の記入欄(日本舞踊協会ウェブサイトよりダウンロード)に記入の上、FAX03-3533-8768へ。

※定員になり次第、受付終了となります。
※申込受付後、受付票をお送りしますので当日ご持参ください。

主催・お問い合わせ：公益社団法人日本舞踊協会 Tel.03-3533-6455(平日10:00~17:00)
<http://www.nihonbuyou.or.jp/>



国立劇場
〒102-8656 千代田区隼町4-1 Tel.03-3265-7411(代表)
◆東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」1番出口から徒歩5分
◆東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」2・4番出口から徒歩10分

料金(全席自由・税込)

【第1部】全席1,000円
【第2部・第3部】各部3,000円 各部学生1,500円
(当日公演窓口扱いのみ/要学生証提示)

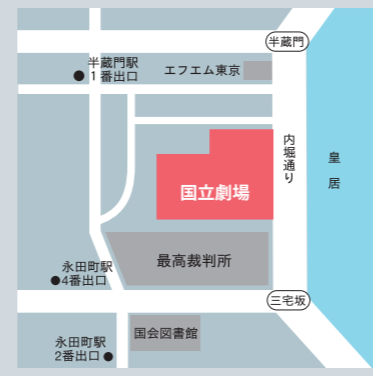
※各部入替制となります。
※障害者手帳をお持ちの方はご本人20%割引、介助者1名まで無料となります。(学生券を除く/当日公演窓口扱いのみ)
※車椅子席、補助犬同伴をご希望の方は、チケットご購入時に日本三曲協会事務局へお問い合わせください。
※未就学児はご入場いただけません。

チケット取扱い

日本三曲協会事務局 Tel.03-3585-9916(電話予約のみ/平日10:00~17:00)
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>(パソコン&携帯)
国立劇場チケットセンター(休館日を除く10:00~18:00/窓口のみ)

チケット発売日 2018年1月22日(月)

主催：邦楽実演家団体連絡会議
[出演団体]一般社団法人義太夫協会、清元協会、一般財団法人古曲会、新内協会、
特定非営利活動法人筑前琵琶連合会、常磐津協会、一般社団法人長唄協会、
公益社団法人日本小唄連盟、公益社団法人日本三曲協会、日本琵琶楽協会
お問い合わせ：公益社団法人日本三曲協会 Tel. 03-3585-9916 <http://www.sankyoku.jp/>



国立劇場
〒102-8656 千代田区隼町4-1 Tel.03-3265-7411(代表)
◆東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」1番出口から徒歩5分
◆東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」2・4番出口から徒歩10分



日本舞踊

JAPANESE TRADITIONAL DANCE



能

楽

NOHGAU

INFORMATION

『翁』に始まり一日を通して上演される 由緒正しい能楽公演

式能は江戸式楽の伝統を受け継ぐ由緒正しい方式による能楽公演で、公益社団法人能楽協会に所属するシテ方・狂言方全流儀が揃い、当代一流の能楽師が一堂に会する年に一度の貴重な舞台です。番組形式は「翁付五番立て」として、能の間に狂言を一番ずつ計四番を組み入れた構成となっています。最初に上演される『翁』は、各流儀の代表となる演者が毎年順番で演じるようになっており、今年度はシテ方金春流宗家・金春憲和が勤めます。

第58回 式能

{開催日} 2月18日(日)

●第1部 10:00開演(9:30開場/14:35終演予定/休憩1回あり)

※『翁』上演中は客席内への途中入場・退席を一切お断りしておりますのでご了承ください。

- 番組・出演
- 〈能〉金春流『翁』金春憲和 『三番三』山本則孝
『金札』辻井八郎
 - 〈狂言〉大蔵流『鎧』善竹忠一郎
 - 〈能〉宝生流『小袖曾我』辰巳満次郎
 - 〈狂言〉和泉流『文荷』三宅右近

●第2部 15:00開演(19:15終演予定/休憩1回あり)

※第2部は第1部終演後の開場となります。

- 番組・出演
- 〈能〉喜多流『杜若』出雲康雅
 - 〈狂言〉大蔵流『二九十八』大蔵彌右衛門
 - 〈能〉金剛流『鉄輪』宇高通成
 - 〈狂言〉和泉流『酢薑』野村万蔵
 - 〈能〉観世流『雷電替装束』片山九郎右衛門



「第54回式能」より『翁』シテ:金春安明
©公益社団法人能楽協会(撮影 辻井清一郎)

会場: 国立能楽堂

料金(全席指定・税込)

[正面]各部7,000円 第1部・第2部通し12,000円

[脇正面・中正面]各部5,000円 第1部・第2部通し8,000円

[学生席]各部1,000円(脇正面後方/26歳以下の全日制学生/2017年12月12日までに要事前申込み)

【障害者割引】詳細は能楽協会へお問い合わせください。

- ※各部入替制となります。
- ※車椅子席、補助犬同伴をご希望の方は、事前に能楽協会へお申込みください。
- ※お受取り、お支払方法によって別途手数料がかかる場合があります。
- ※未就学児はご入場いただけません。

チケット取扱い

国立能楽堂(休館日を除く10:00~18:00/窓口のみ)

チケットスペース Tel.03-3234-9999

(月~土10:00~12:00/13:00~18:00/2018年2月9日(金)まで)

チケットぴあ Tel.0570-02-9999(Pコード481-949) <http://t.pia.jp/>

カンフェティ Tel.0120-240-540(平日10:00~18:00) <https://www.confetti-web.com/>

チケット発売中



国立能楽堂
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 Tel.03-3423-1331(代表)
◆JR中央線・総武線「千駄ヶ谷駅」から徒歩5分
◆東京メトロ副都心線「北参道駅」1番出口から徒歩7分
◆都営地下鉄大江戸線「国立競技場駅」A4出口から徒歩5分

主催・お問い合わせ:公益社団法人能楽協会 Tel.03-5925-3871(平日10:00~16:00)
<http://www.nohgaku.or.jp/>

華やいでうたい、おどる、 民俗芸能のみなもとを現代につなぐ

風流(ふりゅう)とは、中世の日本で広まった創生美に富んだ祭礼や芸能をいい、盆踊りや獅子舞など、いまも日本各地に伝承されるさまざまな民俗芸能の源流とされます。

今回の東京都民俗芸能大会では、民俗芸能本来のありさまを紹介するという初心に立ち返り、“うたとおどり”をテーマとし、都内各地域に伝承される芸能の中から、華やぎを感じる演目を集め、2日間にわたりご紹介いたします。さらに「東京で継承する日本各地の芸能粋」として、今回は大阪の河内音頭と、沖縄のエイサーをご紹介します。

第49回 東京都民俗芸能大会 花風流〜うたとおどりの競い〜

{開催日} 3月17日(土) — 18日(日)

●3月17日(土) 13:00開演(12:30開場/16:00終演予定)

- 演目・出演団体
- ・長崎獅子舞(長崎獅子連/豊島区)
 - ・鳶木遣(八王子消防記念会/八王子市)
 - ・葛西囃子(東都葛西囃子睦会/江戸川区)
 - ・大島元町の歌と踊り(大島町)
 - ・江戸芸かっぱれ(櫻川びん助社中)
 - ・葛西おしゃらく(葛西おしゃらく保存会/江戸川区)
 - ・河内音頭(すみだ錦糸町河内音頭大盆踊り/墨田区)
〈東京で継承する日本各地の芸能粋〉



すみだ錦糸町河内音頭大盆踊り



江戸芸かっぱれ



中野チャンブルーフェスタ



葛西おしゃらく

●3月18日(日) 13:00開演(12:30開場/16:00終演予定)

- 演目・出演団体
- ・鳳凰の舞(鳳凰の舞保存会/日の出町)
 - ・鹿島踊(鹿島踊保存会/奥多摩町)
 - ・江戸木遣(亀有木遣保存会/足立区)
 - ・大島元町の歌と踊り(大島町)
 - ・柳窪囃子(柳窪囃子連/東久留米市)
 - ・友田獅子舞(友田町郷土芸能保存会/青梅市)
 - ・沖縄エイサー(中野チャンブルーフェスタ/中野区)
〈東京で継承する日本各地の芸能粋〉



鳳凰の舞

※出演団体は一部変更になる場合があります。何卒ご了承ください。

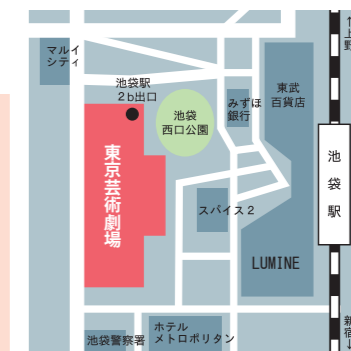
会場: 東京芸術劇場 プレイハウス

入場無料(要事前申込み)

申込方法

2018年1月31日(水)(消印有効)までに、都民芸術フェスティバル公式サイト内の申込フォームからお申込みいただくか、往復はがきに①住所②氏名・年齢③電話番号④希望日⑤希望人数(往復はがき1枚に2人まで)を書き、返信はがき宛名面に返信先住所を記入の上、東京都民俗芸能大会係(〒112-0012 文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル8階)へ。

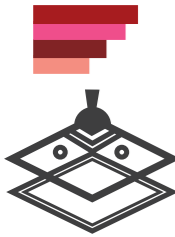
※往復はがきは2017年6月1日から新料金(124円)に変更となっています。料金不足にならないようお気をつけください。
※3月17日、18日両日ともご鑑賞希望の方は、各希望日個別にお申込みください。
※応募者多数の場合は抽選となります。
※お申込みは、各希望日につき1人1通限り有効です。
※WEB申込みフォーム、往復はがき、重複してお申込みはできません。
※車椅子席、補助犬同伴をご希望の方は、ご来場前に東京都民俗芸能大会係(SAP)へご連絡ください。



東京芸術劇場
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 Tel.03-5391-2111(代表)
◆JR山手線・埼京線、東武東上線、西武池袋線、東京メトロ有楽町線・丸の内線・副都心線「池袋駅」西口から徒歩2分
※池袋駅地下2b出口と直結

主催:東京都・東京都教育委員会・公益社団法人東京都歴史文化財団・東京都民俗芸能大会実行委員会
お問い合わせ:東京都民俗芸能大会係 Tel.03-6912-0945(株式会社SAP/平日10:00~18:00)

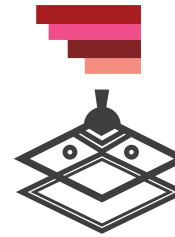
【託児サービスのご案内】 詳細は、本誌5頁をご覧ください。



落語、浪曲、講談、漫才、奇術、紙切り、太神楽… 寄席芸能を楽しもう!

江戸時代から続く粋で豊かな大衆文化「寄席」の魅力、豪華出演陣による演目と識者による解説で、今回も都内7会場へお届けします。

※本紙掲載の公演内容に、やむを得ず変更が生じる場合がございますが、何卒ご了承ください。
※最新の公演情報は、都民芸術フェスティバル公式ウェブサイト <https://tomin-fes.com/> でご案内しています。



寄席芸能

寄席芸能

第48回 都民寄席

国立公演

{開催日} 2月4日(日) 13:30 開演

番組
解説:長井好弘(読売新聞編集委員)
三遊亭圓馬『二番煎じ』
紙切り:林家正楽
柳家喬太郎『小言幸兵衛』



会場:くにたち市民芸術小ホール
〒186-0003 国立市富士見台2-48-1 Tel.042-574-1515(代表)
◆JR南武線「矢川駅」または「谷保駅」から徒歩10分

浪曲の会

{開催日} 2月12日(月・祝) 13:30 開演

番組
東家孝太郎『越後伝吉 一粒万倍』(脚色:野口甬堂) 曲師:水乃金魚
大利根勝子『雪の夜囁』 曲師:玉川みね子
澤孝子『二十三年』(原作:山本周五郎 脚本:大西信行)
曲師:佐藤貴美江



会場:東京芸術劇場 シアターウエスト
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 Tel.03-5391-2111(代表)
◆JR山手線・埼京線・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ有楽町線・丸の内線・副都心線「池袋駅」西口から徒歩2分※池袋駅地下2b出口と直結

羽村公演

{開催日} 2月16日(金) 18:00 開演

番組
桂夏丸『洗濯物』(作:古城一兵)
瀧川鯉昇『武助馬』
解説:矢野誠一(演劇・演芸評論家)
太神楽曲芸:翁家社中
柳亭市馬『味噌蔵』



会場:羽村市生涯学習センター ゆとろぎ
〒205-0003 羽村市緑ヶ丘1-11-5 Tel.042-570-0707
◆JR青梅線「羽村駅」東口から徒歩8分

狛江公演

{開催日} 2月17日(土) 13:30 開演

番組
解説:長井好弘(読売新聞編集委員)
桂小南『そば清』
漫才:ホームラン
柳家権太楼『敷入り』



会場:狛江市立西河原公民館
〒201-0013 狛江市元和泉2-35-1 Tel.03-3480-3201
◆小田急線「狛江駅」から徒歩15分
◆小田急線「狛江駅」バス乗り場から「多摩川住宅」>「福祉会館前」下車

町田公演

{開催日} 3月6日(火) 18:00 開演

番組
柳家さん若『のめる』
柳家さん喬『百川』
解説:長井好弘(読売新聞編集委員)
漫才:宮田陽・昇
昔昔亭桃太郎『カラオケ病院』



会場:町田市民ホール
〒194-0022 町田市森野2-2-36 Tel.042-728-4300(代表)
◆小田急線「町田駅」西口から徒歩7分
◆JR横浜線「町田駅」中央口・小田急線連絡路から徒歩10分

日野公演

{開催日} 3月16日(金) 18:00 開演

番組
古今亭駒次『初めての自転車』
入船亭扇遊『花見の仇討』
解説:長井好弘(読売新聞編集委員)
奇術:山上兄弟
桂文治『ラーメン屋』

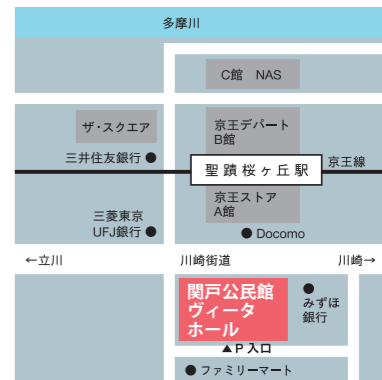


会場:ひの煉瓦ホール(日野市民会館)
〒191-0016 日野市神明1-12-1 Tel.042-585-2011(代表)
◆JR中央線「日野駅」から徒歩15分
◆JR中央線「日野駅」5番バスのりばから「高幡不動駅行き」>「日野市役所入口」下車

多摩公演

{開催日} 3月22日(木) 18:30 開演

番組
解説:矢野誠一(演劇・演芸評論家)
桃月庵白酒『妾馬』
太神楽曲芸:ボンボンブラザーズ
神田松鯉 講談『名人小団次(役者伝)』



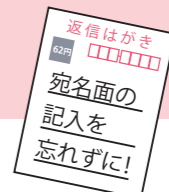
会場:多摩市立関戸公民館
〒206-0011 多摩市関戸4-72 ヴィータ・コミュニティー7・8階 Tel.042-374-9711
◆京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」から徒歩1分
◆京王線・小田急線「永山駅」バスのりばから「聖蹟桜ヶ丘行き」>「聖蹟桜ヶ丘駅」下車徒歩1分

入場無料(要事前申込)

2018年1月6日(土)(消印有効)までに、往復はがきに①住所②氏名③年齢④電話番号⑤希望日・希望会場⑥希望人数(往復はがき1枚に2人まで)を書き、返信はがき宛名面に返信先住所を記入の上、都民寄席実行委員会(〒110-0005 台東区上野1-9-5 一般社団法人落語協会内)へ。

※往復はがきは2017年6月1日から新料金(124円)に変更となっています。料金不足にならないようお気をつけください。
※応募はがきは1枚1会場とさせていただきます。
※応募者多数の場合は抽選となります。
※車椅子席、補助犬同伴をご希望の方は、ご来場前に都民寄席実行委員会事務局へご連絡ください。
※未就学児はご入場いただけません。

申込方法



主催:東京都・公益財団法人東京都歴史文化財団・都民寄席実行委員会
お問い合わせ:都民寄席実行委員会事務局 Tel. 03-3833-8622(一般社団法人落語協会内)

CALENDER



1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	

2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1	2	3	

3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	

2018 都民芸術フェスティバル参加公演

	公演名	会場	料金・各種サービス
オーケストラ	オーケストラ・シリーズNo.49	東京芸術劇場 コンサートホール	A席3,800円 B席2,800円 C席1,800円 ※学生割引あり ※障害者割引あり ※視覚障害者のための点字曲目一覧あり ※託児サービスあり(有料/要事前申込)
室内楽	日本の歌・シリーズNo.3 室内楽・シリーズNo.17	東京文化会館 小ホール	一般3,000円 ※学生割引あり ※障害者割引あり ※視覚障害者のための点字曲目一覧あり
オペラ	藤原歌劇団公演 オペラ『ナヴァラの娘』『道化師』	東京文化会館 大ホール	S席14,800円 A席12,800円 B席9,800円 C席8,800円 D席6,800円 E席2,500円 ※25歳以下割引あり ※障害者割引あり
	日本オペラ協会公演 オペラ『夕鶴』	新宿文化センター 大ホール	S席12,000円 A席10,000円 B席8,000円 C席5,000円 D席2,500円 ※25歳以下割引あり ※家族割引あり ※障害者割引あり
	東京二期会オペラ劇場 『ローエングリン』	東京文化会館 大ホール	S席17,000円 A席14,000円 B席11,000円 C席8,000円 D席5,000円 E席2,000円 【2月22日(木)平日マチネ・スペシャル料金】 S席15,000円 A席12,000円 B席10,000円 C席8,000円 D席5,000円 E席2,000円 ※学生席あり
現代演劇	劇団俳優座公演 『いつもいつも君を憶ふ』	俳優座劇場	一般5,400円 学生3,780円 ※障害者の介助者への割引あり ※聴覚障害者のための貸出脚本、視覚障害者のための点字配布物あり
	虚構の劇団第13回公演 『もうひとつの地球の歩き方』	座・高円寺1 東京芸術劇場 シアターウエスト	4,800円 ※学生割引あり ※座・高円寺1公演のみ障害者割引あり ※託児サービスあり(有料/要事前申込)
	ミュージカル『HEADS UP!』	TBS赤坂ACTシアター	S席10,800円 A席8,500円 B席6,500円 ※24歳以下割引あり
	名取事務所公演 『渴愛』	小劇場B1	前売4,000円 当日4,500円 ※学生割引あり ※シニア割引あり ※聴覚障害者のための当日貸出脚本あり
	青年劇場第118回公演 『きみはいくさに征ったけれど』	紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA	一般5,150円 ※30歳以下割引あり ※中高生席あり
バレエ	牧阿佐美バレエ団公演 『ドン・キホーテ』(全幕)	文京シビックホール 大ホール	S席11,000円 A席8,000円 B席5,000円 ※ペア割引あり ※当日学生割引あり ※都民芸術フェスティバル特別料金あり
	東京シティ・バレエ団創立50周年記念公演 『白鳥の湖』	東京文化会館 大ホール	【3月3日(土)・6日(火)】 S席10,000円 A席8,000円 B席6,000円 C席4,000円 D席3,000円 【3月4日(日)】 S席8,000円 A席7,000円 B席5,000円 C席4,000円 D席3,000円 ※学生席あり
	『ライモンダ』全幕	東京文化会館 大ホール	SS席12,000円 S席10,000円 A席8,000円 B席6,000円 C席4,000円 ※当日18才未満割引あり ※当日65歳以上割引あり
舞踊代	現代舞踊公演	東京芸術劇場 プレイハウス	4,000円 ※学生席あり ※障害者とその介助者の割引あり ※託児サービスあり(有料/要事前申込)
邦楽	第48回邦楽演奏会	国立劇場 小劇場	【第1部】1,000円 【第2部・第3部】各3,000円 ※当日学生割引あり(第2部・第3部のみ) ※当日障害者割引あり(介助者1名無料)
舞日踊本	第61回日本舞踊協会公演	国立劇場 大劇場	各部1等席8,500円 各部2等席5,000円 各部3等席2,000円 ※25歳以下割引あり ※障害者割引あり
能楽	第58回式能	国立能楽堂	【正面席】各7,000円 第1部・第2部通し12,000円 【脇正面・中正面席】各5,000円 第1部・第2部通し8,000円 ※障害者割引あり
芸能民俗	第49回東京都民俗芸能大会	東京芸術劇場 プレイハウス	無料(要事前申込) ※託児サービスあり(有料/要事前申込)
寄席芸能	第48回都民寄席	くにたち市民芸術小ホール 東京芸術劇場シアターウエスト 羽村市生涯学習センターゆとりぎ 狛江市立西河原公民館 町田市民ホール ひの煉瓦ホール(日野市民会館) 多摩市立関戸公民館	無料(要事前申込)

子供向け舞台芸術参加・体験プログラム

	子ども芸能体験ひろば in 三鷹	三鷹市公会堂	無料(要事前申込)
	参加・体験・感動! ふれあい子どもまつり	稲城市立プラザ きゅりあん(品川区) 清瀬けやきホール 文京シビックホール たましんRISURUホール(立川市) 亀戸文化センター(江東区)	【ワークショップ】1,500円 ※スペシャルチャレンジ企画(亀戸文化センターのみ)2,000円 【公演】2,000円~3,000円 ※催し物により異なります。
	第14回 子どもたちと芸術家の出あう街	東京芸術劇場	【ワークショップ】500円~1,000円 【オーケストラ演奏会】大人S席4,000円 大人A席3,000円 大人B席2,000円 子供S席2,000円 子供A席1,500円 子供B席1,000円 ※託児サービスあり(有料/要事前申込)



最新情報随時更新中

公式ウェブサイト
<https://tomin-fes.com/>

全公演のチケットプレゼントや
公演をより楽しめる特集も掲載！



公式 Facebook
都民芸術フェスティバル



公式 twitter
@tomin-fes

2018 都民芸術フェスティバル

〔発行日〕 2017年12月18日

〔編集・発行〕 東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel.03-5391-2116

〔アート・ディレクション〕 小林良太（glassy株式会社）

〔印刷・製本〕 三浦印刷株式会社

※本誌掲載の記事、写真、イラストの無断複製、転載を禁じます。

TokyoTokyo
Road to
FESTIVAL